

城東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月27日(金)

橋本 愛さん
【医療法人社団 親和会】

演題 看護師という仕事について



入院患者の看護師をしている橋本さん。看護師の業務の説明をしました。生徒たちは聴診器を実際に耳にあて、自分やクラスメイトの肺の音を聞く体験をしました。また、採血を行う際のバンドを腕にしばり、血管が浮き出てくる部分を見て触り、どこから採血しているのかに興味をもっていました。生徒の皆さんに「勉強の仕方を学生のうちに身につけて、困ったことがあったら周りに相談しましょう。わからないことは質問し解決しましょう。人間関係を大事にして、自分の得意なことに自信を持ってください」と伝えました。

牛木 亮太さん
【ENEOS(株)】

**演題 ENEOSの仕事
～あたり前の生活を支えるということ～**



工場製油所の在庫管理をしている牛木さん。ガソリン、軽油など石油製品を作る工場で働いています。入社のかっかけや石油製品の精製方法、1日のスケジュールなどを説明しました。生徒の皆さんに「生活のなかに私達の製品が役に立っていることを実感できます。皆さんの生活を守るためにたくさんの方が仕事をしています。世界は誰かの仕事でできている。みんな誰かの役に立っています」と話しました。また、「目の前のことに全力で取り組みましょう。人とたくさん話したり触れ合う経験は無形の財産になります。勉強していて絶対に損はない、努力する練習になります」と伝えました。

後藤 悠介さん
【大分バス(株)】

演題 バスの運転士になるためには



営業所で総務をしている後藤さん。普段は運転士のサポートや事務の仕事をしていますが、「バスの運転士になるためにはどうしたらよいか、どういった免許が必要か」や、「運転士の1日の流れ」などを説明しました。また、運転士やバスガイドの帽子を生徒に回覧し、被ってもらいました。中学生の視点でおもしろい質問が次々と出ました。生徒の皆さんに「諦めなければ結果は必ずついてくる」、「諦めたら終わり」、「今から出来ることをコツコツとやりましょう」と伝えました。

城東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年9月27日(金)

平山 沙絵さん
【(株)大分放送】

演題 思いを言葉に ～言葉のチカラ～



テレビ・ラジオニュースや番組出演、取材編集、イベント司会などを行っているアナウンサーの平山さん。言葉を使わないジェスチャーでのペアワークからスタートし、アナウンサーの1日の流れや正しい言葉・アクセントの学びのほか、昨日読んだ実際の原稿も紹介しました。生徒の皆さんに「言葉は一生使っていきます。言葉に出したり、思い浮かべることができると、言ったことが実現していきます。ポジティブな言葉を使うとポジティブな出来事が、ネガティブな言葉を使うとネガティブな出来事がおきたりします。相手がこれを言われたらどう思うか？を考えながら話しましょう」と伝えました。

染矢 啓登さん
【(株)熊野建設】

演題 建設業の仕事について



建築工事の現場監督をしている染矢さん。建設業についてや、現場での施工管理の1日の流れ、設計から建物が出来るまでを、コンクリート打設前やコンクリート打設完了などの写真を使いながら説明を行いました。また、建物を作るために29種類の職種が携わっていることを話したほか、大分市の発注工事の図面が書かれた設計図書を回覧しました。生徒の皆さんに「いろんなことに挑戦して、今出来ること、勉強や部活などががんばってください」と伝えました。

南 雄大さん
【大分市商工労政課】

演題 公務員とサラリーマン両方経験した今、私が伝えたいこと



計量器の検査や事務作業をしている南さん。民間企業の経験と、公務員とはどういう職業か、クイズを出しながら説明しました。生徒の皆さんに「自分のやりたいことが出来るように選択肢が増えるように、勉強をがんばりましょう。夢の実現に向けてがんばれば、叶わなくてもがんばった経験のなかでやりたいことが見つかっていきます。あなたと仕事をしたいと思わせる能力、話をよく聞いて理解する姿勢、自分から提案する姿勢を楽しみましょう。中学の友達が一生の友達になるかもしれないので大切にしましょう」と伝えました。

1年生6クラス。希望制で2回の講演を行いました。生徒たちは全員第1希望の講師の講演を聴くことができ、ふたりの講演を聴くことでふたつの業種を学ぶことができました。